



MONJU at present
高速増殖原型炉もんじゅ
プラント確認試験速報

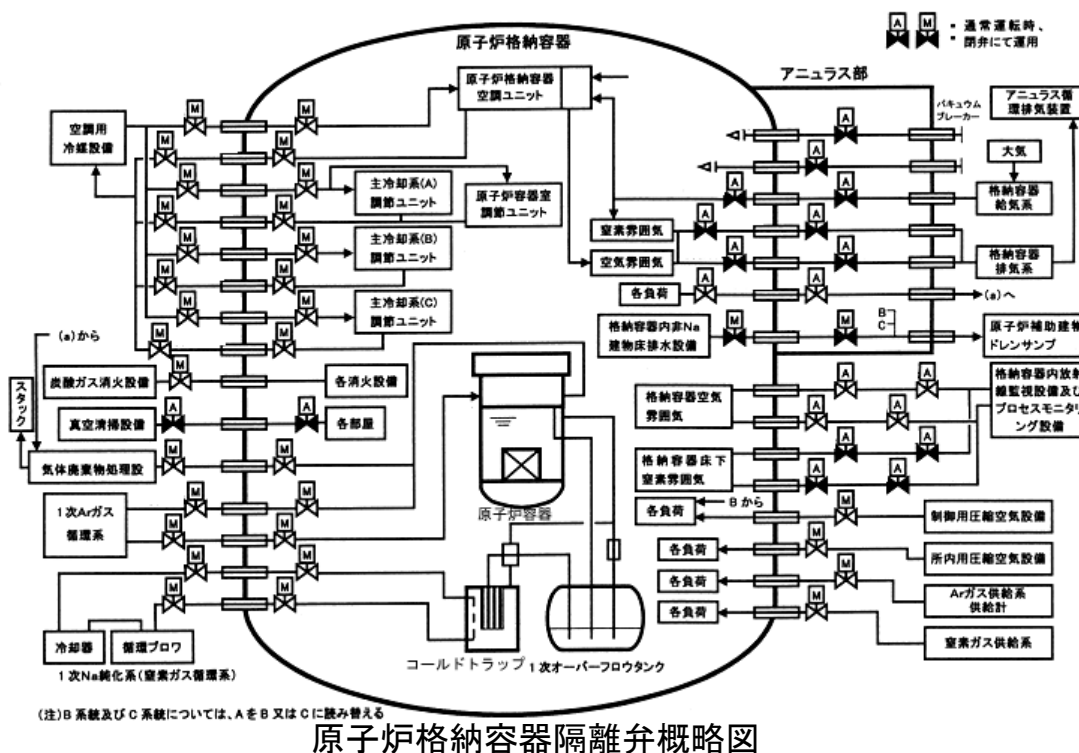


第 12号

平成20年6月20日発行

試験件名	5. 放射性物質の閉じ込め機能の確認 (原子炉格納容器自動隔離弁機能確認)	当該試験速報回数	1
試験目的	原子炉格納容器隔離信号により原子炉格納容器隔離弁(以下、「格納容器隔離弁」)及び関連系統設備・機器が計画通りに作動することを確認する。		
試験範囲	格納容器を貫通する配管の隔離弁(60弁)		

主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
格納容器自動隔離弁機能確認	手動隔離信号により、格納容器隔離弁(60弁)の「閉」動作(時間測定含む)、及び原子炉トリップ、アニュラス循環排気装置の起動を確認する。また、手動リセットで格納容器隔離弁が手動にて「開」できることを確認する。	良好	H20.6.14



(解説) 格納容器隔離弁

格納容器自身は極めて気密性の高い鋼製容器で、貫通する配管やダクトを通して外へ漏れ出す可能性のあるものは隔離弁を設け、この弁を閉めることにより気密性を確保する。

格納容器内の放射能レベル異常上昇や原子炉液位異常低下等を検知して自動的に隔離弁を閉止する。



(試験概要)

- 中央制御室の格納容器手動隔離スイッチから隔離信号を発信させ、警報装置及び原子炉トリップ信号が正常に作動することを確認した。
- 格納容器隔離弁が正常に作動したことを隔離弁モニタライトの点灯及び現場の実作動確認、中央計算機の時間データを確認し、判定値以内にあることを確認した。
- 隔離信号を受け、以下がシーケンス通り作動することを確認した。
 - アニュラス循環排気装置循環排気ファンの自動起動、ヨウ素フィルタユニット自動切替
 - 格納容器換気装置自動停止
 - 中央制御室空気浄化ファン自動起動のリレー動作確認
 - 1次アルゴンガス(Ar)系圧縮機自動停止
- 隔離信号が手動リセットでき、また、格納容器隔離弁が手動で個別に「開」できることを確認した。